

統合型GIS機能要件一覧

機能分類体系			要件定義			
大項目	中項目	小項目	項番	要件	詳細要件・補足説明	必須機能
基本事項	サービス提供環境	機器環境	1	操作機器環境として、指定する機器環境に対応すること。	発注者の主な業務端末にて問題無く動作可能であること。 <発注者業務環境> ・デバイス：PC ・CPU Intel Core i3 程度 ・メモリ 8GB 程度 ・ストレージ 256GB 程度 ・OS：Windows 11 以上 ・ブラウザ：Microsoft Edge 利用にあたり、Java、ActiveX、.NET Framework等のプログラムを必要とする場合は、必要なプログラム及びその理由を明確に示すこと。	○
		ネットワーク環境	2	サービスを提供するネットワーク環境及び通信経路の暗号化について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やネットワークセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	LGWAN-ASP環境でストレスなく動作するよう構築すること。発注者のLGWAN接続系ネットワーク帯域は最大100Mbpsであるので、留意すること。 個人情報を搭載・管理することから、通信経路には相応のセキュリティ設計を行うものとする。	○
		データ管理	3	データ管理環境について指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	受注者の用意するデータセンタ環境にデータ管理環境を構築すること。 データセンタの要件は、仕様書に記載の通り。	○
			4	データのバックアップに関して指定する要件に対応すること。提案する環境が要件と異なる場合は、その理由やデータセキュリティ面で問題ないことを示すこと。	・バックアップ環境：指定した場合を除き全て日本国内であること。 ・サイクル（間隔）：週次で全体バックアップを取得、また日時で差分バックアップを取得すること。 ・保有世代数（保有期間）：全体バックアップを3世代以上及び期間中の差分バックアップ	○
	想定利用者数	利用ユーザ（職員）数	5	想定される利用ユーザ（職員）数は右記の通りとする。	全職員（1,000名程度）の利用を想定する。 職員が万遍なく利用できるよう、最適な同時接続アカウントとすること。	○
		管理者機能利用人数	6	想定されるそれぞれの管理機能の利用人数は右記の通りとする。	システム管理部署（5名程度）の利用を想定する。	○
	デザイン・操作性	デザイン・操作性	7	表示画面上の項目配置や色使い等、誰もが利用しやすいユニバーサルなデザインであること。また、わかりやすい操作性が確保されていること。	—	○
		アクセシビリティ	8	「JIS X8341-3：2016」等のアクセシビリティに配慮していること。	「JIS X8341-3：2016」が規定する「レベルAA」準拠に相当するアクセシビリティであること。	○
	データ移行	データ移行	9	個別システムで保有するデータを、新システムの初期データとして移行（登録）できること。	仕様書別紙1「掲載データ一覧」を参照すること。	○
	サービス終了時・契約満了時等の対応	保有データの提供	10	サービス開始後に発注者が登録した情報のうち、発注者の情報管理権限を有する情報（発注者が提供を希望する情報）については、契約終了時に全て抽出し発注者に提供可能とすること。	—	○
		保有データの消去等	11	サービス終了若しくはサービス利用契約終了後は、速やかに保有データをシステムから消去し、そのエビデンスの提出や報告を行うこと。	—	○
	地図の種類	地図の種類	12	システムで使用する背景地図の種類は指定のとおりとすること。	仕様書及び仕様書別紙1「掲載データ一覧」を参照すること。	○
地図機能	地図コンテンツの表示	背景図	13	地形図、航空写真、住宅地図等を背景図として表示できること。また、複数の背景図の切り替えができること。	背景用住宅地図は受注者にて調達すること。	○
		主題情報	14	主題情報（施設情報や地図コンテンツ等）のレイヤと背景図を重ね合わせて地図に表示できること。	—	○
			15	複数の主題情報を重ね合わせて地図に表示できること。	—	○
			16	レイヤ単位及び属性情報の分類単位で表示・非表示の切り替えができること。	—	○
		凡例表示	17	表示中のアイコン等に対する凡例を表示し、表示・非表示の切り替えができること。	—	○
		2画面表示	18	異なる施設情報、地図コンテンツ及び背景図を選択した2種類の地図を同一画面内に並べて表示できること。	—	
19	並べて表示した地図について、拡大縮小や移動等の操作を連動できること。		—			

機能分類体系			要件定義				
大項目	中項目	小項目	項番	要件	詳細要件・補足説明	必須機能	
		地物の属性表示	20	テキスト情報などを属性情報としてアイコン、線レイヤ及び面レイヤと関連付けて設定できること。	—	○	
			21	属性情報の登録、編集、削除が任意にできること。	—	○	
			22	1つの図形に複数の属性情報を関連付けて設定できること。 ※図形：属性レコード = 1:n	—	○	
			23	地図上のアイコン等を選択することで、属性情報を表示できること。	—	○	
			24	属性情報として数値、文字列、URLなどのデータ型を設定できること。	—	○	
			25	URLについては、クリックすることでクリップボードへのコピー等が行えること。	—		
			26	属性情報として、任意のファイルの登録・編集・削除ができること。	—	○	
			27	画像ファイルについては、ダウンロードしなくとも画面上に直接画像を表示できること。	—		
			28	属性情報の表示レイアウトを、属性定義ごとに任意に設定できること。（事業者による対応でもよい。）	—		
		データ管理	データ入力	29	CSVに含まれる住所情報を利用したアドレスマッチングができること。	—	○
				30	Shape形式で空間データのインポートができること。	—	○
				31	CSV形式の表を属性情報としてインポートができること。	—	○
			データ出力	32	CSV等で、地図に表示している地物の属性一覧を出力できること。また、出力項目等の設定が可能であること。	—	○
		33		画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを画像ファイルとして出力できること。	—		
		34		Shape形式による空間データの出力に対応できること。	—	○	
	地図の機能	拡大縮小	35	表示地図の縮尺を拡大・縮小できること。	—	○	
			36	マウス操作により地図を拡大・縮小できること。	—	○	
		移動	37	地図を任意の方向に移動できること。	—	○	
			38	マウス操作により地図を移動できること。	—	○	
		中心マーク表示	39	表示画面中心に中心を表すマークの表示・非表示切替ができること。	—		
		縮尺表示	40	表示中の地図縮尺に対応したスケールバーを表示できること。	—	○	
		索引図表示	41	表示中の地図範囲を示した索引図を表示できること。また、索引図の表示・非表示の切り替えができること。	—		
			42	索引図で指定した場所に地図表示を移動できること。	—		
		住所・目標物検索	43	住所情報による地図検索ができること。	—	○	
			44	住所の表記は、全角、半角および英数字、漢数字、日本語表記、「ー」「ー（長音）」による表示等、想定される住所表記に対して対応できること。	—	○	
			45	目標物による地図検索ができること。	—		
		属性情報検索	46	属性情報による地図検索ができること。	—	○	
			47	検索結果を一覧で表示できること	—	○	
			48	検索結果をフィルタリング表示できること。	—		
			49	検索結果の指定の属性項目を一括更新できること。	—		
			50	地図上の地物の属性一覧を表示できること。	—	○	
			51	属性一覧画面から地物を検索できること。	—		
				52	属性一覧画面にて、属性ごとの集計ができること。	—	
		高度検索	53	レイヤ横断で表示レイヤ属性をフリーワードで検索し、検索結果を一覧表示できること。	—	○	
			54	地図上の任意の範囲を指定して検索できること。	—		
		経緯度	55	地図の任意地点の経度・緯度を表示できること。	—		
	56		経度・緯度を指定して位置が検索できること。	—			
	印刷	57	画面に表示した地図や施設情報、地図コンテンツを印刷できること。属性情報や凡例をあわせて印刷できること。	—	○		
		58	印刷する際の縮尺やレイアウトを予め登録できること。	—	○		
		59	コピーライトや利用上の注意等、定型文を合わせて印刷できること。	—	○		
		60	事前に準備されたシステム固定の印刷テンプレート（A4縦横、A3縦横の4種類）を選択して印刷可能なこと（ブラウザ出力、PDF出力）。	—	○		
		61	印刷プレビューの表示、プレビュー上での地図の拡大縮小、移動ができること。	—	○		

要件定義							
機能分類体系			項番	要件	詳細要件・補足説明	必須機能	
大項目	中項目	小項目					
		計測	62	マウス操作により選択した距離、面積の計測が地図上で行えること。	—		
			63	距離及び面積の計測中に縮尺の変更やスクロールができること。	—		
			64	計測結果が表示されている状態で、印刷や地図の画像を保存できること。	—		
		作図	65	任意のレイヤに対し、マウス操作により新規に図形（ポイント（点）・ライン（線）・ポリゴン（面））を作成できること。	—	○	
			66	既存の図形を選択し、移動・回転・削除等ができること。	—	○	
			67	作成・編集した図形の保存・キャンセルが任意にできること。	—	○	
			68	属性情報を持たない図形の作成・編集・削除ができること。	—	○	
			69	頂点スナップを利用した作図ができること。	—	○	
			70	トポロジ作図・編集ができること。	—		
			71	一時的な図形を含めて印刷・画像出力ができること。	—		
		地図の管理	主題情報のレイヤの表示	72	図形情報に対応するポイント・ライン・ポリゴンを表示できること。	—	○
				73	レイヤごとに、表示する縮尺範囲を指定できること。	—	○
				74	レイヤの表示順を設定できること。	—	○
				75	レイヤの色分け表示、ラベル表示を設定できること。	—	○
	76			属性情報に応じて、レイヤの色分け表示、ラベル表示を連動できること。	—	○	
	77			ポイントレイヤとして表示するアイコンはシステム標準のものを用意し、追加できること。	—	○	
	78			背景図に対し、アイコンなどの表示項目の透過度が設定可能であること。	—	○	
	79			ラインレイヤ及びポリゴンレイヤと属性情報で構成される地図コンテンツを表示できること。	—	○	
	80			ポリゴンレイヤは、枠線や塗りつぶし部分の種類、太さ、色、透過度等を変更できること。	—	○	
	81			図形（アイコンシンボル、線、面）の表示設定は、複数色、複数種類から選択できること。	—	○	
	82			ラインレイヤは、線の種類や太さ、色、透過度等を変更できること。	—	○	
	83			属性情報の値に従い、ラベルを地図上に表示できること。	—	○	
	84			ラベルやアイコンの表示・非表示を個別に設定できること。	—	○	
	85	ラベルやアイコンを回転してを地図上に表示できること。	—				
	86	縮尺に応じて、アイコンのサイズや形状等を変更せず、画面上で一定のサイズで表示できること。	—	○			
	87	ラベルやアイコンは、縮尺に応じて個別に表示・非表示を設定できること。	—				
	88	管理者がテーマの追加・編集・削除をできること。	—	○			
	89	管理者がレイヤの追加・編集・削除をできること。	—	○			
	90	利用者がユーザ専用のマイレイヤの追加・編集・削除ができること。	—	○			
	91	管理者が属性定義の追加・編集・削除をできること。	—	○			
	92	管理者が関連ファイルカテゴリの追加・編集・削除をできること。	—	○			
	データの公開	93	公開型GISと連携し、データの公開・非公開の管理が職員にて行えること。	—	○		
		94	データを公開する場合は、所属長等による二段階承認を必要とする等、不用意にデータを公開することの無いよう行えること。	—	○		
	95	掲載する地図データの種類の指定の通りとする。	仕様書別紙1「掲載データ一覧」を参照すること。	○			
	管理者機能	ユーザ管理	ユーザ登録・設定	96	ユーザアカウントの登録・設定ができること。	—	○
			ユーザ認証	97	パスワード等による利用者認証ができること。	—	○
				98	二段階認証または多要素認証方法（再認証も含む）に対応すること。	—	
アカウントロック・解除			99	認証失敗によるアカウントロック及び管理者によるロック解除ができること。	—	○	

要件定義							
機能分類体系			項番	要件	詳細要件・補足説明	必須機能	
大項目	中項目	小項目					
		管理者設定	100	アカウントごとに管理者権限の割り当てができること。	—	○	
		権限設定	101	アカウントごとに閲覧範囲・実行可能操作等の権限割り当てができること。	—	○	
		グループ管理	102	ユーザグループを設定し、グループごとの権限設定等ができること。	—		
		一括登録	103	CSVファイル等により、ユーザ情報の一括出力・入力が可能であること。	—	○	
	ログ管理	ログ取得	104	システムの操作ログを取得できること。	取得データは下記を基準とし、発注者と協議の上決定すること。 ・ユーザ名 ・操作日時 ・操作内容 ・操作データ 等	—	○
		ログ表示	105	取得したログを、条件を指定し抽出表示できること。	—	○	
		ログ出力	106	抽出したログを、CSV形式等でダウンロードできること。	—	○	